

ケースレポートで めざせ学会デビュー!



見坂恒明 著

神戸大学大学院医学研究科医学教育学分野地域医療支援学部門特命教授

兵庫県立丹波医療センター地域医療教育センター長



本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶登録手続

1. 学会発表の意義とは? ————— p2
2. 論文化ができる症例とは? ————— p3
3. 学会発表までのタイムスケジュール ————— p5
4. 症例遭遇—発表できる症例の認知と調べ方 ————— p6
5. 抄録作成 ————— p13
6. スライド作成 ————— p25
 - 1) スライドサイズと文字の見せ方
 - 2) 内容の構成と見せ方
 - 3) プレゼンテーションスライドの構成と見せ方
 - ①余白と図表化
 - ②色使いや囲み
 - ③文字の大きさ
 - ④分割, 分類, 色分け, グラフ化
 - 4) 引用文献の提示方法
7. 予演会 ————— p32
8. 学会発表でのドレスコードと会場入り ————— p32
9. 発表について ————— p33
 - 1) プレゼンテーションの練習は入念に
 - 2) プレゼンテーション当日の注意
 - 3) プレゼンテーションの心がまえ
 - 4) プレゼンテーションが終わったら

▶HTML版を読む

日本医事新報社では、Web オリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

このコンテンツは、学会発表が初めて、または数回未満の初期研修医、後期研修医（専攻医）を主な対象としています。しかしコンテンツの内容は、十分な発表回数を行っている後期研修医（専攻医）や指導医にも役立つ内容となっています。

1. 学会発表の意義とは？

学会発表は、自分自身の研鑽や業績のためという側面はもちろんあります。しかし大切なことは、学会発表の抄録や論文発表を通じて、きちんと記録を残せば、自分の知らないところで、大勢の人が見てくれて、その人たちの日々の診療に役立つということです！（表1）

表1 記録を残すことの重要性

- ・自分（たち）の診療を記録に残す！
写真、メモ、書籍、学会発表、学術誌、etc
- 何のために？
- ・自分自身のために
 - ・一緒に働いているまわりのスタッフのために
 - ・周辺の医療機関のために
 - ・世の中の医療者や患者のために、etc

皆さんも症例で困ったときに、過去に同じような報告がないか、医学中央雑誌などで検索していませんか？ 論文化されているものはもちろん利用しますし、あまり論文の数が多くなければ学会発表の抄録も利用しますよね！

2. 論文化ができる症例とは？

論文化ができる症例は、表2～4の通りです。

表2 ケースレポートできる症例とは

- ・新規有害事象の発見
- ・症状・経過が新規
- ・1人の患者に認められた**2つの疾患間に予想外の関連性**があった場合
- ・その症例が病態生理をあぶり出した場合、さらには**医学常識を覆す場合**
- ・通常認めない症候そのものは新規なほうがよいが、臨床稀有性だけを押し出すのではなく、「**その症例が語る臨床的有用性**」＝「**新規アイデア**」を前面に押し出す
- ・論文作成の実地では、まずは臨床的有用性1本に絞ってみる

(文献1より引用)

表3 Journal of Medical Case Reports 投稿規定

- BMC series Case report Criteria:**
- ・Unreported or unusual side effects or adverse interactions involving medications.
 - ・Unexpected or unusual presentations of a disease.
 - ・New associations or variations in disease processes.
 - ・Presentations, diagnoses and/or management of new and emerging diseases.
 - ・An unexpected association between diseases or symptoms.
 - ・An unexpected event in the course of observing or treating a patient.
 - ・Findings that shed new light on the possible pathogenesis of a disease or an adverse effect.

表4 BMJ Case Reports 投稿規定

BMJ Case Reports is interested in any case that fulfils the following criteria:

- ・Reminder of important clinical lesson
- ・Findings that shed new light on the possible pathogenesis of a disease or an adverse effect
- ・Learning from errors
- ・Unusual presentation of more common disease/injury
- ・Myth exploded
- ・Rare disease
- ・New disease
- ・Novel diagnostic procedure
- ・Novel treatment (new drug/intervention; established drug/procedure in new situation)
- ・Unusual association of diseases/symptoms
- ・Unexpected outcome (positive or negative) including adverse drug reactions

論文化ができる症例は、おおよそ下記のように集約されます。

- ・ある疾患で症状・所見・経過が新規
- ・副作用，薬剤相互作用が新規
- ・2つの疾患間に予想外の関連性
- ・新規の診断方法
- ・新規の治療方法，予想外の治療効果
- ・稀・新規の病気・病原体

しかし，学会発表の場合は，「教育的・教科書的な知見紹介」を論文より多くしてもかまいません。うまくいったことだけではなく，失敗から学ぶことも重要です。

「比較的よくある疾患だが，〇〇の理由で診断に難渋した」「これこれこ

ういう理由で、治療方針の選択が難しかった」、そして「こういうことをしておけばもっと早く対処できた」という失敗から学ぶことも学会発表には有益です。

大切なことは、一般化できる臨床的メッセージがあることです。

3. 学会発表までのタイムスケジュール

学会発表までのタイムスケジュールはおおむね、**図1**のようになります。

症例に遭遇したら、すぐに情報検索をしましょう。学会発表のためではなく、個々の症例の診療の質を高めるためです。

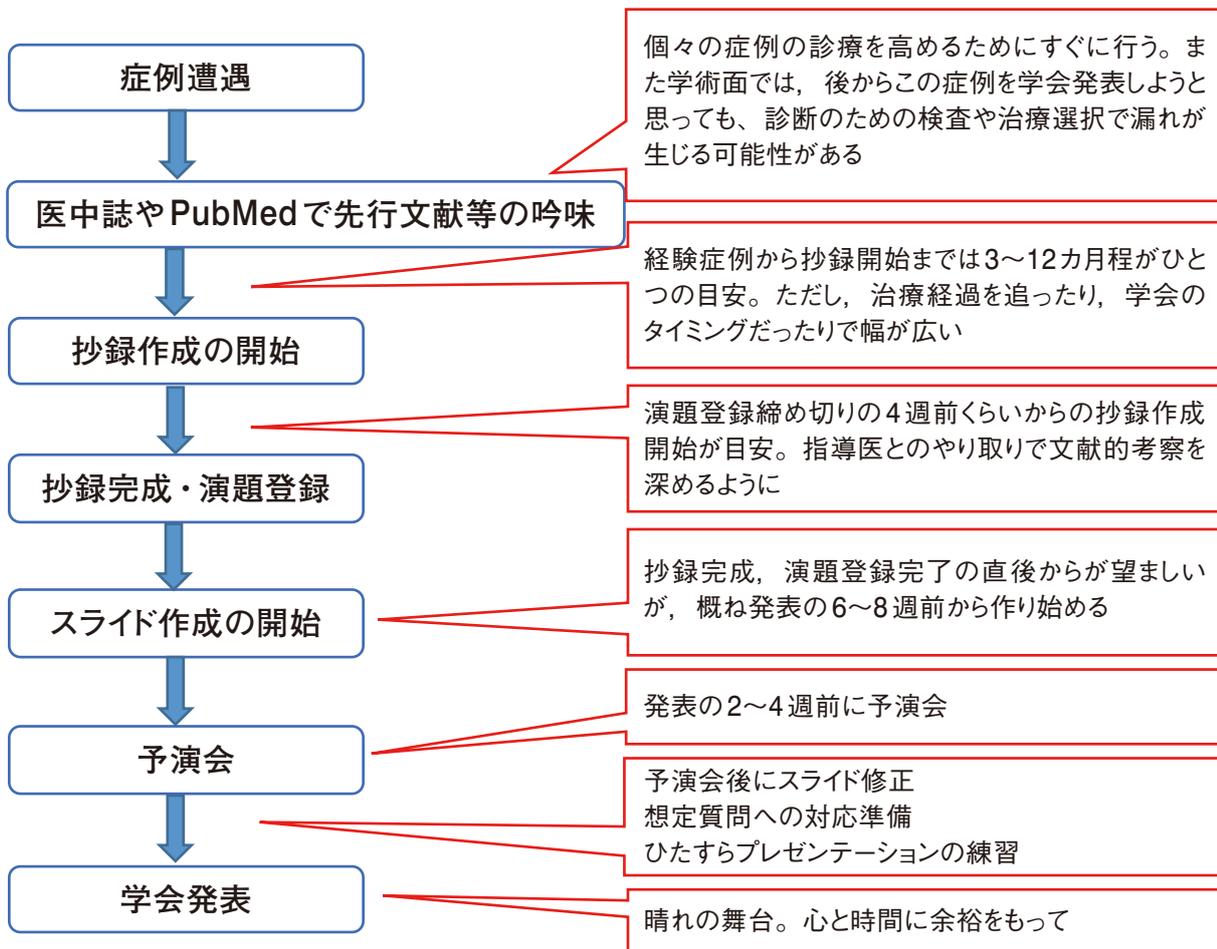


図1 学会発表までのタイムスケジュール例

学術面で言えば、後からこの症例を学会発表しようと思っても、診断のための検査や治療選択で漏れが生じては、せっかくの発表の価値が下がり